

『ミュージズは溺れない』 監督：浅雄望

1. あなたのプロフィールを書いてください。名前、生年月日(不記載もOK)、出身地、どこで映画を学んだか、フィルモグラフィーなど。

浅雄望(あさおのぞみ)、1987年生まれ、広島県出身です。関西大学・立教大学大学院で映画理論・映画制作を学びました。在学中に、映写技師のアルバイトをしながら映画づくりを開始し、卒業後は助監督などとして映画やCM、TVドラマの現場に携わりました。

初監督短編『怪獣失格』(2008)がCINEDRIVE2009で上映されたほか、監督作品に『分裂』(2012)、『アトム・ヒア』(2019)、『躍りだすからだ』(2020)等があります。初の長編映画となる『ミュージズは溺れない』(2021)は、2019年に撮影を開始し、コロナ禍での一時中断を経て、2年がかりで完成しました。

2. 映画を志したきっかけについて書いてください。

幼少期から漠然と自分の考えていることを何かで表現したいという思いが強くあり、文章を書いたり友人とコントをやったりしていました。高校時代、学校の平和学習の一環で戦争映画を観た際に、映画の持つ表現力に衝撃を受けて「映画を撮りたい」と思うようになり、見よう見まねでシナリオを書き始めました。ところが、大学に入っていざ映画を撮ろうとした時に、「ひとりでは作れない」という壁にぶつかり、スタッフやキャストとの意思疎通がまったく上手くいかず、悔しい思いをしました。しかし同時に、映画をきっかけにして人と関われる喜びを感じました。その悔しさと、人と関われる喜びを感じ続けたいと思い、映画を志しました。

3. 影響を受けた監督、作品、その他、小説、芝居なんでも構いません。

万田邦敏監督、大九明子監督

4. 出品した作品を作った意図はなんでしょうか。

10代の頃、生きてることが辛く、息苦しく過ごした時期がありました。そんな自分と似た状況にある誰かがいるなら、その人にこの映画が届いて、少しでも息がしやすくなればいいなと思って作りました。

少し欠けたところがある未熟な人たちが互いの存在を肯定し合うという話を通して、その欠けた部分が他人から見たらかけがえのない魅力として映りうることを、願いをこめて表現しました。

5. 近い将来、遠い将来の目標はなんでしょうか。

近い将来の目標は、『ミュージズは溺れない』を劇場公開することと、現在製作中の長編第2作目を完成させ劇場公開することです。

遠い将来の目標は、地元広島で映画をつくり全世界で観てもらおうことです。

6. 現在の日本で映画を作る環境について、何か意見はありますか。

助成金などを得るまでのハードルが高く、資金調達が困難のように思います。自分自身の課題でもありますが、資金不足を解決することで労働環境の改善をしたいです。

7. 現在、あなたには特定のプロデューサーはいますか、また、映画製作の資金調達はどのように行なっていますか。

特定のプロデューサーはいません。映画製作の資金調達は、主に自分の貯金の切り崩しです。

8. 次回作の企画があれば、開示できる範囲で書いてください。

2020年の自粛期間中、『ミューズは溺れない』の撮影が中断して完成が危ぶまれ、絶望してしまった自分自身の経験をもとに製作した短編『躍りだすからだ』の長編リメイクプロジェクトを進めており、現在撮影中です。

9. 映画以外に趣味があれば書いてください。

音楽・落語・ラジオを聴きながら散歩をすること。お笑いライブへ行くこと。長風呂をすること。